

地域おこし協力隊通信



丹波山村
地域おこし協力隊

6月の新隊員紹介！

vol.18



新隊員

山本 菜々子

YAMAMOTO NANAKO

建築士志望の若者が 丹波山村に

丹波山村地域おこし協力隊に新しいメンバーが加わりました。彼女の名前は山本菜々子さん。福島県出身で、芝浦工業大学建築学科を今春卒業し、空き家問題の解消に取り組む意欲にあふれた方です。

大学4年の時に協力隊の存在を知った山本さんは、就職するか大学院に進むかを考える中で、大手企業に就職すると、個人のお客様と触れ合う機会が少ないことに気付きました。将来、建築士として独立を考えている山本さんは、資格を取得して空き家問題に向き合う活動をしたと考え、地域おこし協力隊への参加を決意しました。

山本さんは、「建築を通じて一人ひとりのお客様と直接触れ合いたい」という強い思いを持っており、二級建築士の資格取得を目指しながら、丹波山村の空き家問題の解消に向けた活動を行う予定です。空き家再生の様子を動画で記録し、ネットでの配信も考えているとのこと。また、趣味はインドア派だそうですが、健康のために散歩を楽しみたいと話していました。

山本菜々子さんの加入により、丹波山村の地域おこし協力隊は15人になりました。空き家問題は村の喫緊の課題です。他協力隊員をはじめ、村民の皆様のご協力を是非ともよろしくお願い致します。



株式会社TreeLumber

SHIMIZU YAMATO

清水 岳人

令和3年4月から令和6年3月まで地域おこし協力隊として活動。在任2年目に異動した林業の会社に就職。現在は事業本部で森林整備と地域活性業務を担当しています。

道は続くよ、どこまでも

地域おこし協力隊員を卒業した人に、今の暮らしと仕事についてインタビューする「協談活志」第二回は、在任中の配属先企業に就職した清水岳人さんです。

就職を決めた理由は

清水任期が残り半年と迫った時期に、社長からいくつか雇用形態を提案されました。ギリギリまで悩みましたが、協力隊在任中の自転車の活動を会社の新規事業として任されたことが、就職を決意した決め手でした。

協力隊を辞めたいと思ったことはありますか

清水あります。毎年冬に感じていました。村の雰囲気がさみしくなりますし、自分の活動がし難い季節だったのもあるかと思えます。

協力隊時代よりも忙しいですか

清水忙しいというか、考える機会が増えました。協力隊時代は技術的な修練と作業が中心でしたが、今はスタッフの管理や業務改善、後輩の育成など協力隊時代にはない従業員としての責任を感じ、日々奮闘しています。



取材後記

専門学校を卒業した清水さんは、地域おこし協力隊員として、自転車に関わる活動をしてきました。しかし、新型コロナウイルスの影響などで、在任中に思うように企画を進められなかったことに対して、歯がゆさを感じていました。

そんな中、清水さんは自身の活動を理解してくれる企業と出会いました。彼はそれを「幸運だった」と語ります。しかし、ただの幸運ではありません。季節を追うごとに精悍（せいかん）になる彼の体形は、決して楽ではない危険な業務に真摯に取り組んできた証です。彼の努力と姿勢が評価された結果が今に繋がっていると思います。

協力隊員の活動は、必ずしも全てが報われるとは限りませんが、その活動の中で、誰かに認められる可能性があるのもまた事実です。三年間多くの隊員の挑戦と成長の場となることを願ってやみません。

